

米軍普天間基地所属 MV22 オスプレイ墜落事故に抗議し、
普天間基地の即時閉鎖・撤去を要求する
8.12 県民大会特別決議

今月 5 日、普天間基地所属の垂直離着陸輸送機 MV22 オスプレイがオーストラリア東海岸沖で訓練中に輸送揚陸艦に衝突、墜落し 3 人もの死者を出す大きな事故が起きた。同基地所属のオスプレイは、昨年 12 月 13 日にも沖縄県名護市安部沿岸で墜落する重大事故を起こし、さらに墜落した機体とは別の機体が同日、普天間飛行場において胴体着陸事故を起こした。

また、今年の 6 月 6 日には伊江島補助飛行場へ緊急着陸。同月 10 日にも奄美空港に相次いで緊急着陸している。同基地所属のオスプレイだけを見てもわずか 8 カ月の間に沖縄、そして世界各地で墜落、緊急着陸する異常事態が続発している。

オスプレイは非常に危険な欠陥機であることは明白である。

米軍は今回の事故の原因究明を行わないまま、事故からわずか 2 日後、普天間基地において同型機の飛行を全面的に再開させた。これは沖縄県民の生命を軽視する蛮行であり、厳しく非難されるべきものである。

私たちは、県民の命とくらしを守るため、今県民大会において、以下決議し、日米両政府に対し、強く抗議し要求する。

記

- 1, 沖縄県内のオスプレイ配備を撤回し、米軍普天間基地を即時閉鎖・撤去すること
- 2, 以下の件について、原因を究明し、全て公表すること
 - 1) 昨年 12 月、沖縄県名護市安部沿岸で墜落した事故
 - 2) 今月 5 日オーストラリア東海岸で墜落、3 人の死者を伴う事故
- 3, 欠陥機オスプレイの沖縄・国内における飛行を全面禁止すること
- 4, 沖縄県内における米軍用機の低空飛行訓練、夜間訓練、つり下げ訓練を禁止すること
- 5, 自衛隊によるオスプレイ導入を撤回すること

宛先 内閣総理大臣
外務大臣
防衛大臣
沖縄及び北方対策担当大臣
米国大統領
駐日米国大使

2017年8月12日

辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議